

## 市民参加の方法 実施結果票

市民参加の概要	洪水（相模川）・土砂災害ハザードマップ改訂説明会		
実施年月日	平成29年10月21日 平成29年10月25日	実施回数	3回
対象者	—	参加者実数	34人
担当課	市民安全部防災対策課防災担当		
I 述べられた意見、又は提出された提案等の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年配には情報量が多くて読めない。</li> <li>・タイトル面に分かりやすく情報を整理し、一目で何が言いたいかわかるようにする。</li> <li>・相模川だけでなく、小出川・千の川の情報も載せ、複合的にするべきである。</li> <li>・水位の情報等の情報の入手方法を明確にする。</li> <li>・土砂災害の情報も掲載しているが、想定最大規模の降雨による相模川の浸水想定と土砂災害警戒区域の指定は条件が異なる。</li> <li>・避難場所のアイコンがわかりづらいので、凡例を見なくてもわかるようなアイコンにするべきである。</li> </ul>			
II Iに対する市長等の考え方			
情報を整理し、より市民が活用しやすいハザードマップの作成を目指します。			
III Iに関する主な意見の進捗状況			
意見		対応	
年配には情報量が多くて読めない。		極力、文字を減らして、写真やイラスト等を掲載し、分かりやすいハザードマップを目指します。	
相模川だけでなく、小出川・千の川の情報も載せ、複合的にするべきである。		今回のハザードマップの改訂は、水防法の改正に伴い、相模川の想定最大規模降雨による浸水想定区域を掲載するものです。ただし、市内には相模川以外に小出川・千の川等の河川が流れることから、小出川・千の川の洪水ハザードマップ等の関連するハザードマップの情報をタイトル面に載せ、複合的に情報を確認出来るようにします。	
土砂災害の情報も掲載しているが、想定最大規模の降雨による相模川の浸水想定と土砂災害警戒区域の指定は条件が異なる。		土砂災害警戒区域は雨量に関係なく、傾斜地の形態により一律に指定される旨を記載します。	
その他特記事項			

注) 必要に応じて枠を拡げて入力してください。

## 市民参加の方法 実施結果票

市民参加の概要	市民参加条例の周知啓発に向けた意見交換会		
実施年月日	平成29年7月17日	実施回数	1回
対象者	—	参加者実数	10名
担当課	総務部市民自治推進課協働推進担当		
I 述べられた意見、又は提出された提案等の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「啓発」という単語は、市民に対して上から目線に関知するため使うべきではない。</li> <li>・市民参加の機会について、知っていれば、参加したいという意欲がある。</li> <li>・市民の関心を引くような情報の発信の仕方を考えるべき。</li> <li>・紙媒体を求める人もいる。逆に、HP等を活用すべき対象もいる。回覧を読まない人や、学校からの通知であれば読んでいる人など、様々な考えの人がいる中で、相手にあわせた情報の発信が重要である。</li> <li>・市民参加に関する書面を用意すべきである。</li> </ul>			
II Iに対する市長等の考え方			
<p>ちらしや広報紙、市ホームページ等、情報の受け手のニーズに合わせて多様な媒体を用いて情報提供を行い、市民の参加機会の提供を図ります。SNSやミニコミ誌、ケーブルテレビ番組等の活用について検討し、幅広く市民参加の機会を提供します。</p>			
III Iに関する主な意見の進捗状況			
意見		対応	
市民参加に関する書面を用意すべきである。		広報紙折込チラシを検討します。検討に向け、予算要求を行い、記事の内容やレイアウトについては、市民参加にて市民意見を聴取する予定です。	
様々な考えの人がいる中で、相手にあわせた情報の発信が重要である。		紙媒体以外に、SNS活用を検討するため、秘書広報課と協議を行い、既存の媒体を活用し、周知の充実を図ります。	
その他特記事項			
来年度、折込チラシにて市民参加特集を検討しており、記事の内容やレイアウトについては、市民参加を行う予定です。			

注) 必要に応じて枠を拡げて入力してください。